

看護業務効率化先進事例収集・周知事業  
**看護業務の効率化 先進事例アワード2019**

---

**優秀賞**

**業務改善部門**

**県立広島病院**

**看護記録に要する時間削減の効率化への取り組み  
—記録内容の標準化とリアルタイム記録に焦点を当てて—**

# 1. はじめに\_施設概要

## 県立広島病院

- 所在地：広島県広島市
- 病床数：712床  
(高度急性期 548床，急性期 114床)  
地域医療支援病院  
三次救急（救命救急センター）
- 従業員数：1,463人  
(看護職員数 817名)
- 入院基本料看護配置：  
急性期一般入院基本料1



県民の皆様に  
愛され信頼される  
病院をめざします。



救急医療

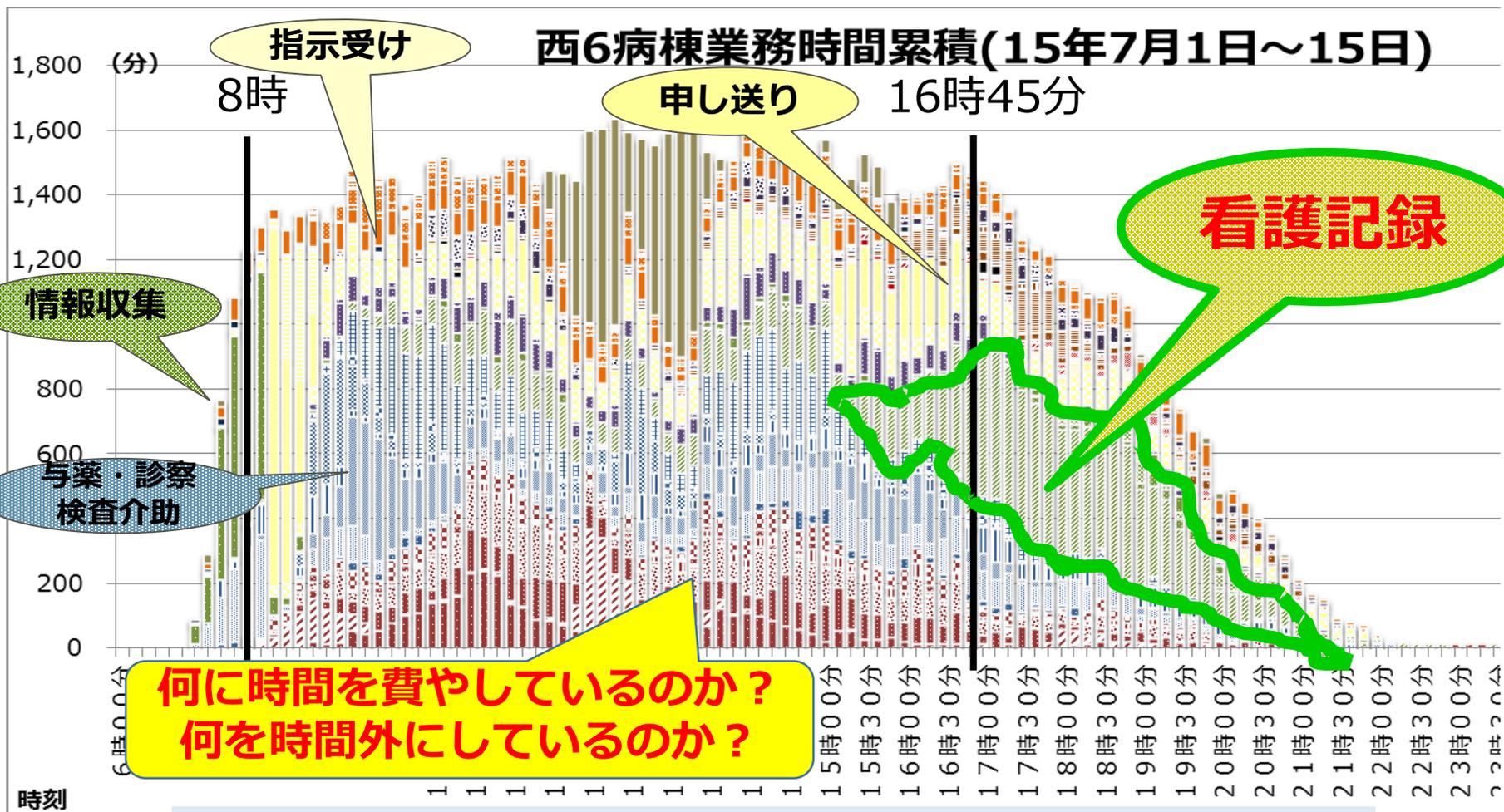
## 2. 取り組みの背景と目的

- 消化器病棟の時間外勤務が年々増加
- 2015年には月平均33.7時間、約7割の看護師の年間時間外勤務360時間超過
- 検査や手術の出し入れなど煩雑な記録物が多く、時間外の大半は記録業務
- 時間外勤務が多いことは、ワークライフバランスの悪化と共に、看護師のモチベーションの低下にもつながっていた

病棟看護業務の効率化による時間外勤務削減  
特に、**看護記録業務の効率化が喫緊の課題**

## 2. 取り組みの背景と目的

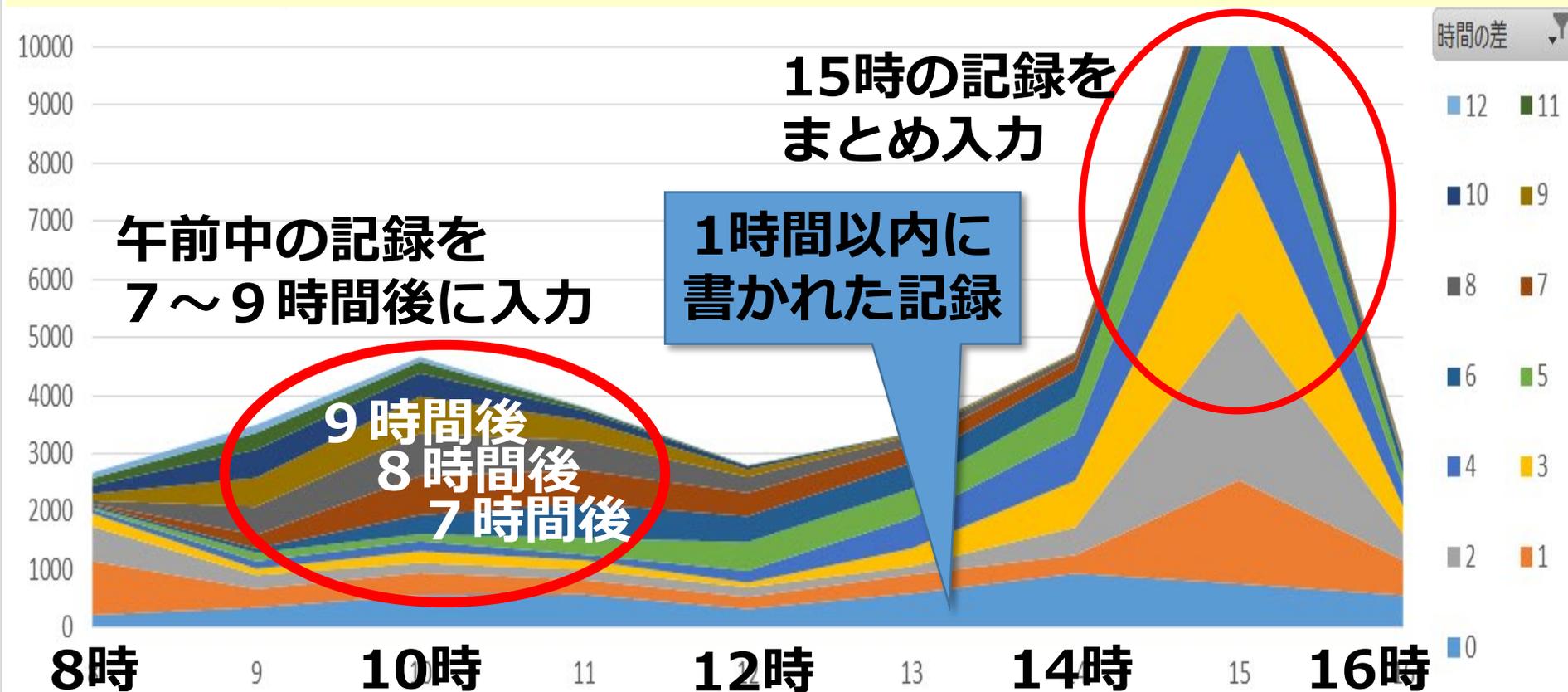
### 業務量調査 ～時間帯別累積分布（日勤）～



**記録業務が時間外**になっていることが分かった

## 2. 取り組みの背景と目的

何時の記録を何時に入力しているか ⇒ **Recording Time Chart**で可視化



青（1時間以内の記録）がほとんどなく、**リアルタイム記録が出来ていない**ことが明らかになった

## 2. 取り組みの背景と目的

**病棟看護業務の業務改善（看護記録業務に特化）**により  
看護師の**時間外勤務を削減**、ならびに**看護の質向上**に努め  
看護師のワークライフバランスを改善し  
モチベーションを向上させる

### 3. 取り組みの経緯 ①セット展開の活用

**入力作業が煩雑だった**

入院や検査・治療に伴う入力作業を

**一つ一つ手入力**していたため、記録に時間を要していた

患者説明  
用紙

転倒転落  
アセス  
メント  
スコア  
シート

退院支援  
アセス  
メント  
シート

術前  
チェック  
リスト

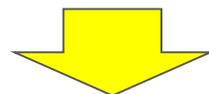
出棟時の  
看護記録

帰室時の  
看護記録

行動制限  
テンプレート

各種  
看護指示

各種  
コスト入力



**必要な記録をセット化したセット展開の活用**

### 3. 取り組みの経緯 ①セット展開の活用

## 必要な記録をセット化したセット展開の活用 ～ERCP検査後のセット展開の例～

セット展開なし

#### テンプレート記録

- ・ ERCP帰室時記録
- ・ 行動制限記録
- ・ 転倒転落アセスメント記録

#### 看護指示

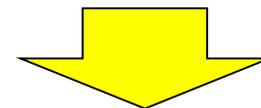
- ・ ドレーン管理
- ・ 洗面
- ・ ENBDバッグ交換

#### コスト

- ・ ENBD挿入、管理継続
- ・ SpO2

セット展開あり

ERCP検査後の  
セット展開を  
ワンクリック



左の記録が自動的に展開できる

**記録の効率化・標準化が可能**

※ERCP : Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography (内視鏡的逆行性胆道膵管造影)

# 3. 取り組みの経緯 ①セット展開の活用

## セット展開の効果 ~ERCP検査後のセット展開の例~

セット展開なし

専用画面を開き、項目選択

**12クリックと項目を探す時間**

セット展開あり

ERCP ENBDあり...  
受診 ERCP ENBDあり 帰室時

ERCP後の看護記録 2019/10/17(木) テスト 南1

【1 版】2019/10/17 (木) 14:28:24 看護 風病 N 5

■ 帰室時  
帰室する。バイタルサインは経過表へ入力。  
ストレッチャーにて自室まで搬送する。  
鎮静剤使用のため自力で移乗できず、スライダーを用いて全介助でベッドへ移乗する。  
制臥位を介助する。

■ 説明・指導  
チューブを触らないように説明する。  
初回歩行時は、ナースコールするよう説明する。

行動制限 (抑制・拘束) 2019/10/17(木) テスト 南1

【1 版】2019/10/17 (木) 14:28:18 看護 風病 N 5

■ 行動制限の必要性アセスメント  
■ 第1段階 一時性  
未梢静脈ライン、ED・ENBD・イレウス管

【行動制限カンファレンス記録】

コスト伝票 2019/10/17(木) 14:28 テスト 南1  
処置行為 ENBD管理継続

コスト伝票 2019/10/17(木) 14:28 テスト 南1  
処置行為 ENBD挿入  
薬物情報 肌層開始時間 1715

**ワンクリックで自動的に展開**

## 3. 取り組みの経緯 ①セット展開の活用

記録委員がそれぞれの検査、治療に対応したセットを作成

### 入院時

CTガイド下RFA  
全身麻酔下RFA  
胃EMR  
胃ESD  
大腸EMR 3日間  
大腸EMR 4日間  
大腸EMR ヘパリン化  
大腸ESD  
大腸ESDヘパリン化  
ラパコレ  
ソケイヘルニア  
ERCP  
TACE  
⋮

### 検査・治療後

ERCP チューブあり  
ERCP チューブなし  
胃ESD  
大腸ESD  
EUS-FNA  
胃EMR  
大腸EMR  
TACE  
全身麻酔下RFA  
CTガイド下RFA  
上部止血術  
下部止血術  
PEG増設術  
⋮

### 手術後

ラパコレ 術当日  
ヘルニア 術当日  
術後1日目 コスト

### 処置

ルート確保  
腹水穿刺  
CV挿入  
肝生検  
胃管挿入時

### 看護指示

褥瘡ハイリスク  
入院時各種評価  
全介助清潔ケア

### 3. 取り組みの経緯 ②リアルタイム記録

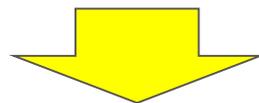
**看護記録を最後の業務**とする働き方だった

以前は患者情報をメモに残し、記録以外の業務が一段落してスタッフステーションに帰って記録

いちいち時間を戻して書くのは面倒だな

何時だったかな？

患者さん、何て言っていたっけ？



ラウンド時、**ベッドサイドに電子カルテを持参し**  
メモや記憶に頼らず**直接入力**するスタイルに変更

**リアルタイム記録の徹底** (実施後 1 時間以内)

## 3. 取り組みの経緯 ②リアルタイム記録

### リアルタイム記録に期待される効果

⇒ **必要な情報を必要な人に必要な時に届けられる**

- 患者の**最新情報**が記載できる
- 得た情報をメモに取り、その後入力する**二度手間**を省く
- 記憶に頼らないため**情報が正確**
- 他職種が**タイムリー**に患者情報を把握できる
- **申し送り**が**効率的**に行える



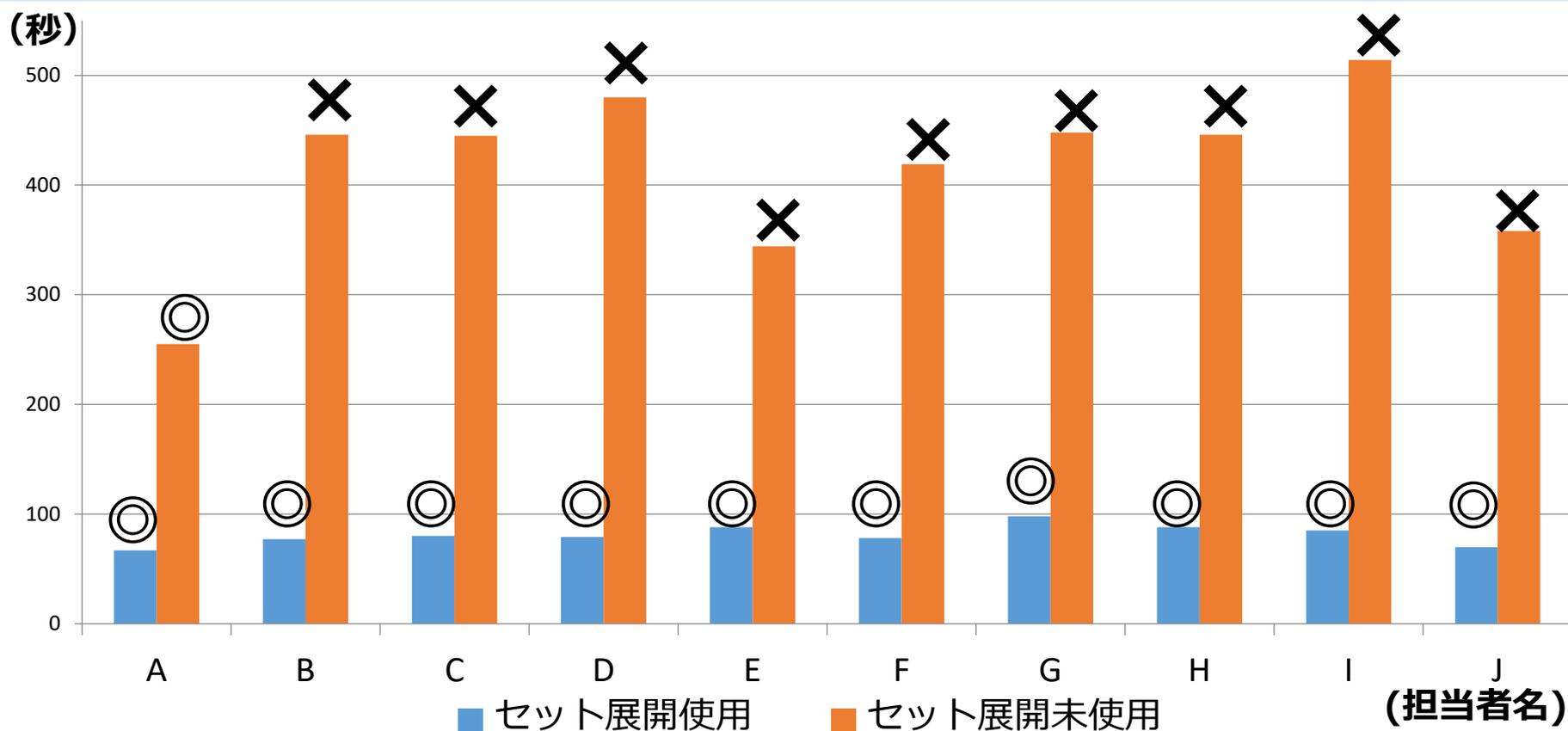
でも、一人1台  
持ち歩くためには  
電子カルテが足りない…



**パートナー制を導入**

## 4. 取り組みの効果・成果

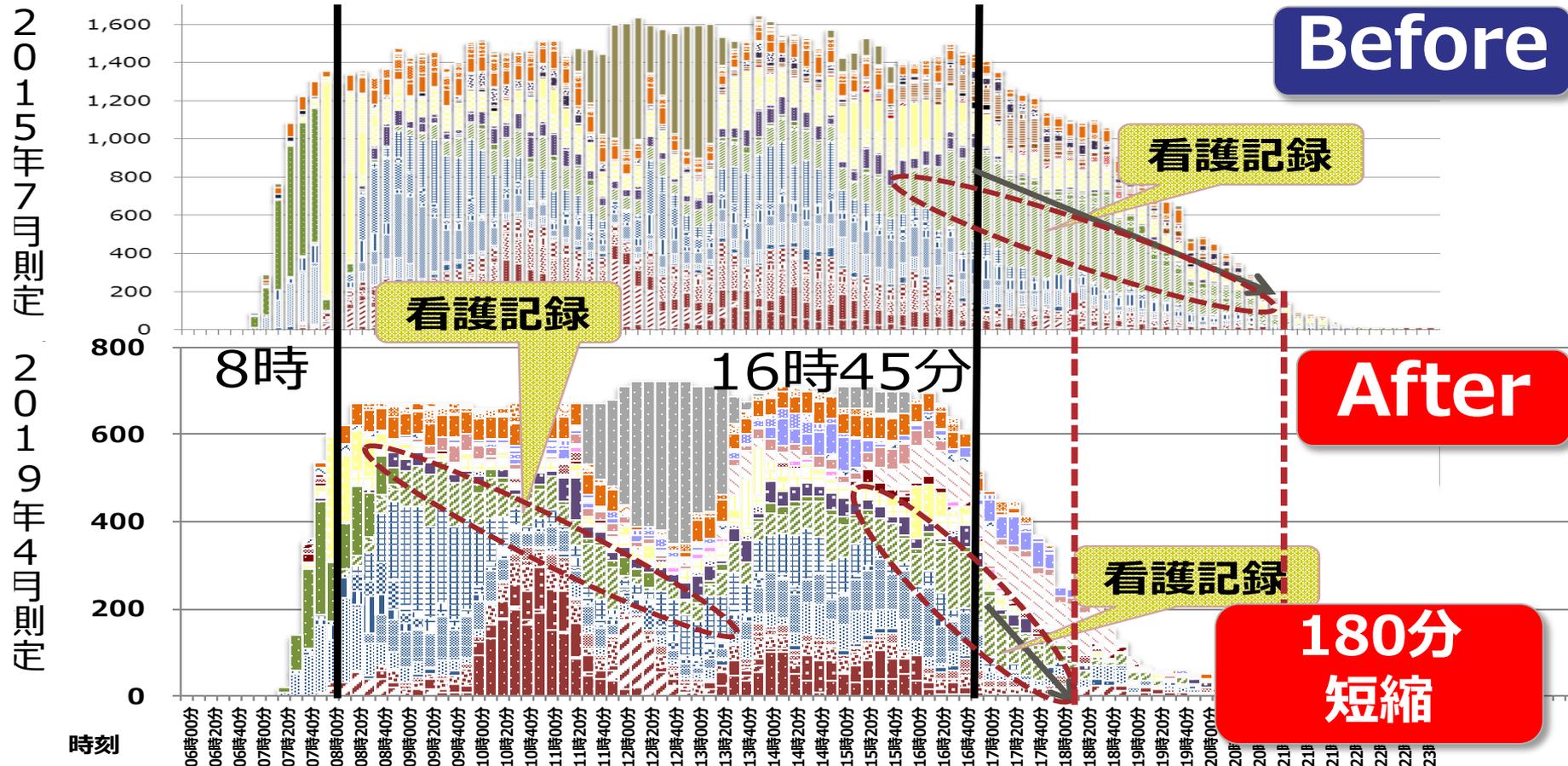
スタッフ10名（ランダムに選定）のセット展開使用時・未使用時の記録時間の実測比較（入力漏れあり × 入力漏れなし ◎）



セット展開の使用で誰でも短時間で正確な記録が可能になった

# 4. 取り組みの効果・成果

## 施策前後の業務量累積分布図の比較（日勤）



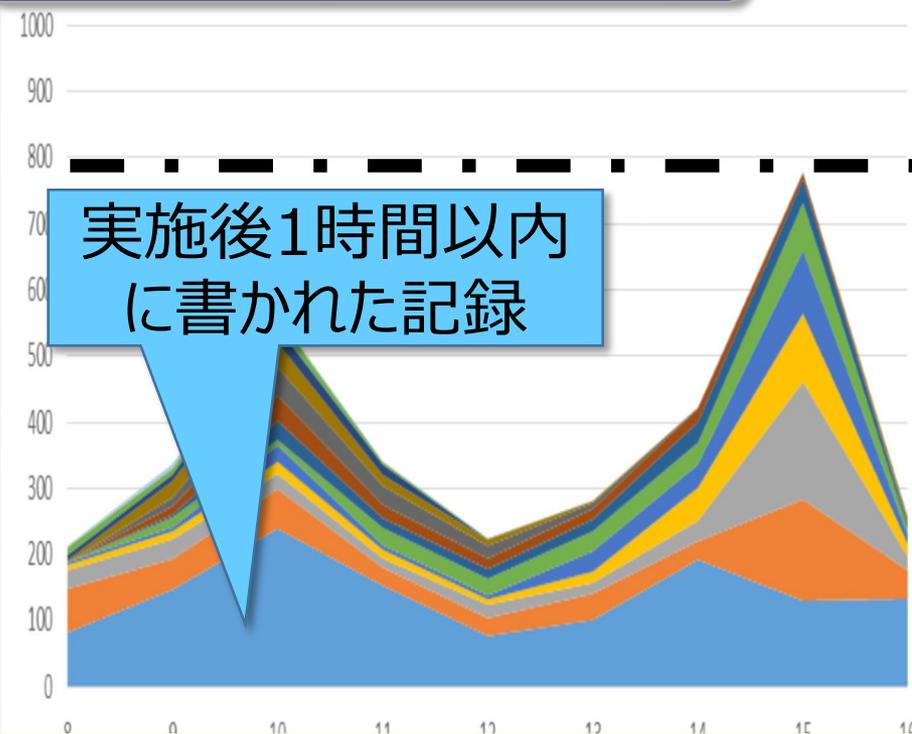
※2019年では、2015年と比較し業務量調査期間が半分のため積み上げ件数が半分になっています

**看護記録（赤い破線）が午前中にも発生し、時間外記録が180分短縮**

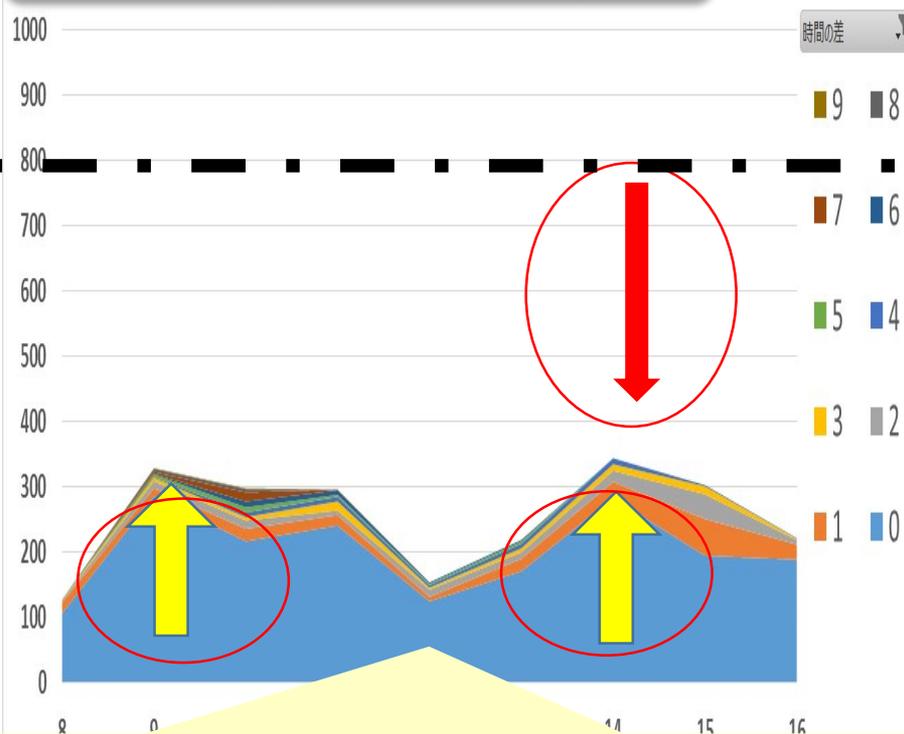
## 4. 取り組みの効果・成果

### パートナー制導入前後でのRecording Time Chartの比較

Before(2015年12月)



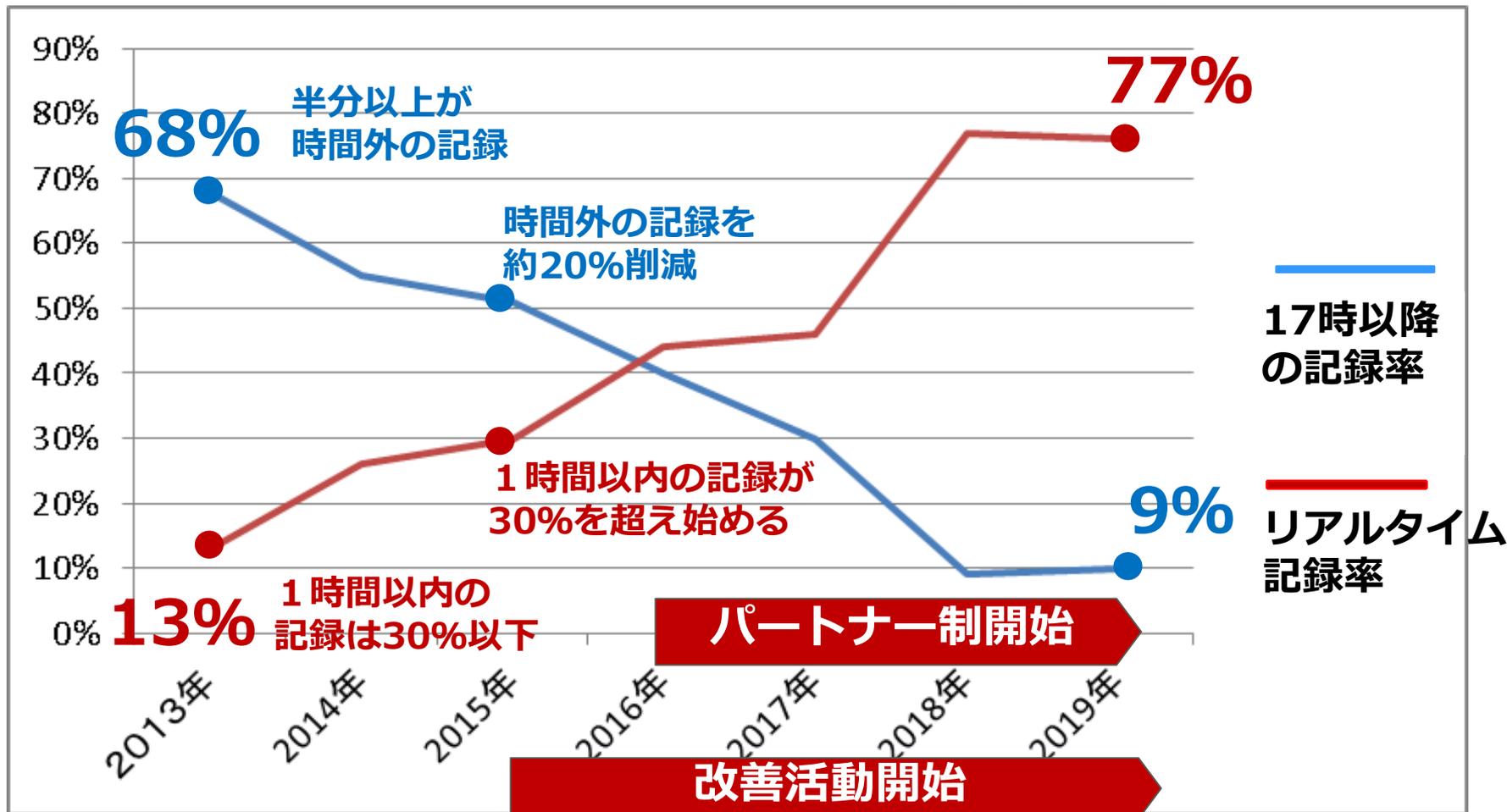
After(2018年9月)



導入後は午前・午後ともに青の1時間以内の記録が増加し、事後記録が大幅に減少、リアルタイム記録ができるようになった

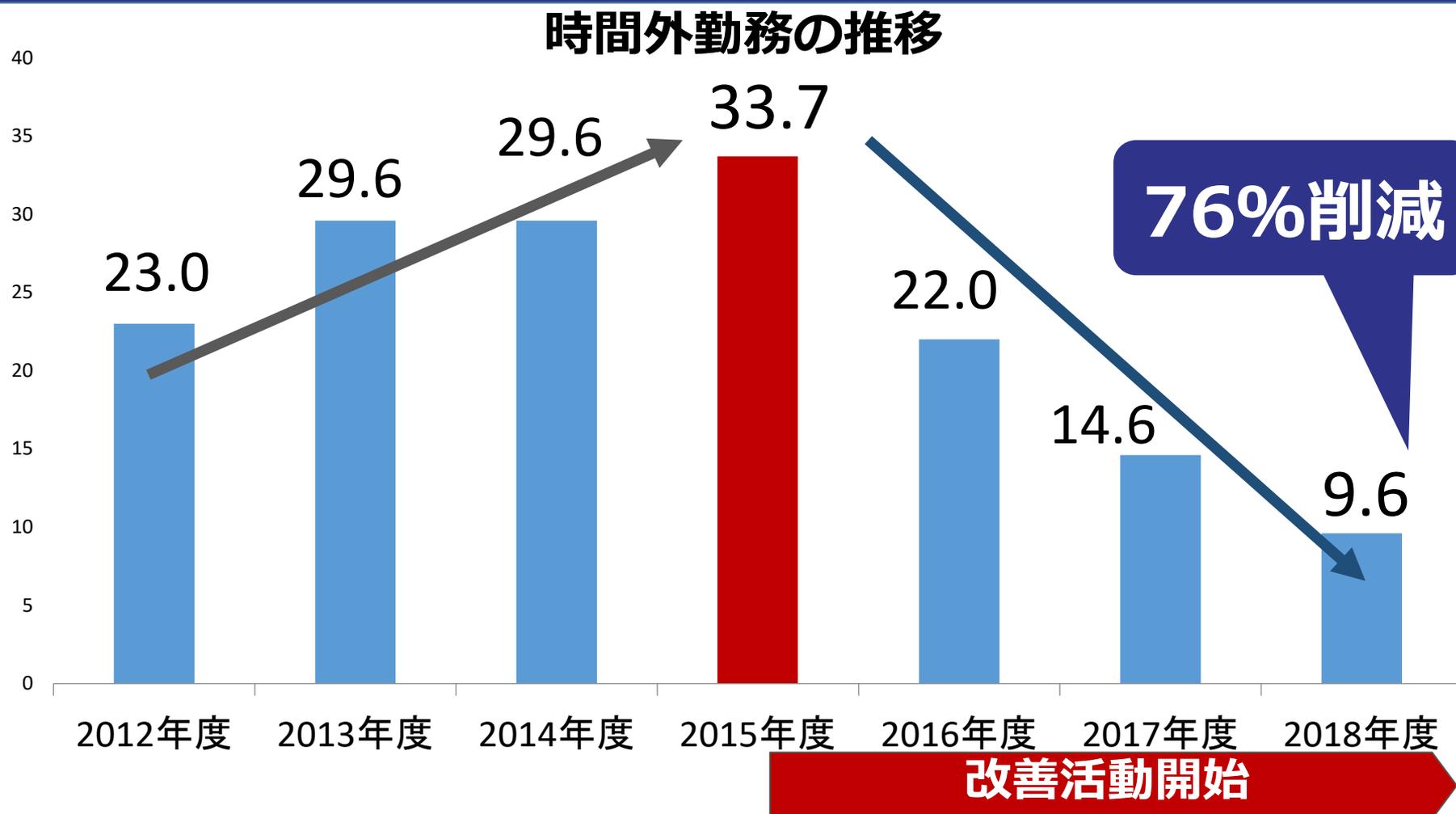
## 4. 取り組みの効果・成果

### 日勤帯記録の時間外の記録率とリアルタイム記録率



リアルタイム記録率は現在77%まで増加し、時間外記録は10%以下となった

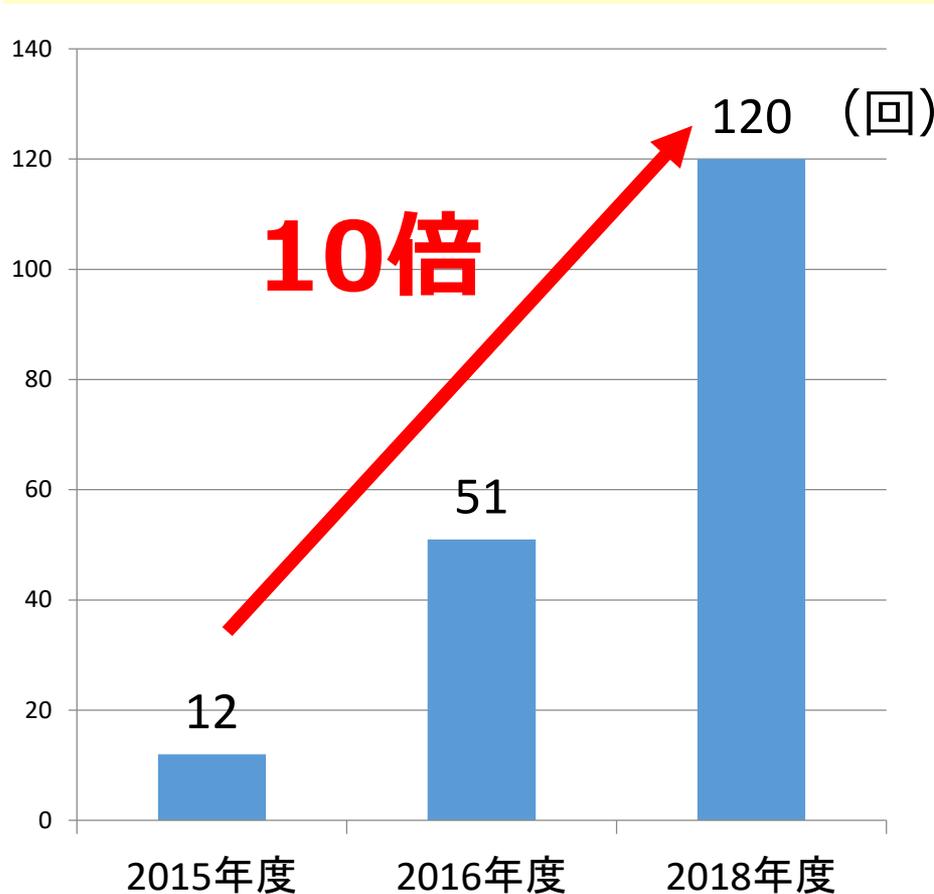
## 4. 取り組みの効果・成果



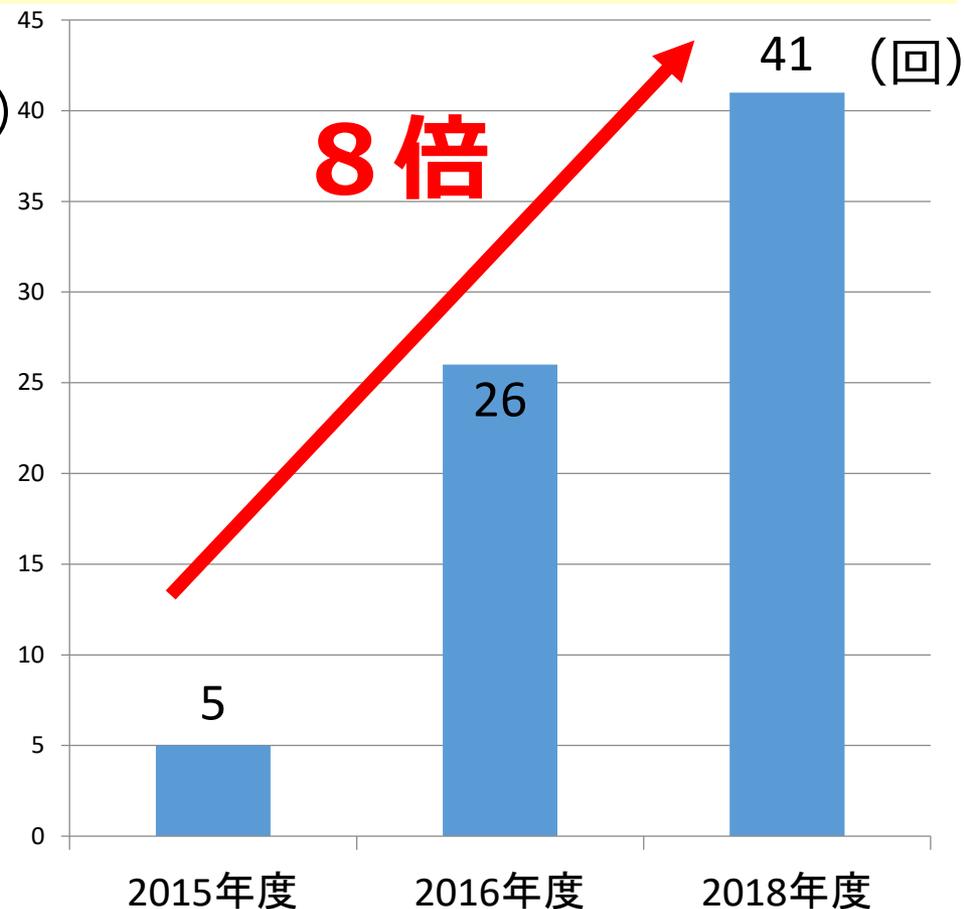
増加傾向にあった時間外勤務が改善活動によって大幅削減

## 4. 取り組みの効果・成果

記録が早く終わり、**退院支援カンファレンスや勉強会增加**



退院支援カンファレンス開催数



勉強会開催数

## 4. 取り組みの効果・成果

経営に与えた成果：病棟看護師全体の時間外勤務の総計

**Before**

2015年度  
時間外合計

11,151 時間

**After**

2018年度  
時間外合計

3,210 時間

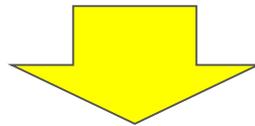
7,941時間削減

0 2000 4000 6000 8000 10000 12000

仮に看護師の時給を2,000円で試算すると  
年間で約4,000,000円の削減

## 5 . 今後の取り組み

- 記録内容の標準化（セット展開の活用）とリアルタイム記録に関することを院内に横展開
- リリーフ体制において、上記内容を活用していく **コラボナース（院内呼称）** が、安全に、安心して効果的に看護力を発揮できる



**お互いを補完しあう（強み・弱み）体制を整え  
時間外勤務を削減し、より質の高い看護を提供**